

第 6 回 東海村地域公共交通会議 議事メモ(公表用)

【日 時】 平成 27 年 2 月 17 日(火) 15 時 30 分～

【場 所】 東海村役場 201・202 委員会室

【出席者】 (委 員) 出席 16 名／欠席 7 名

1. 開会(まちづくり推進課)

2. あいさつ

(設楽会長)

- ・みなさんこんにちは。東海村副村長の設楽でございます。本日は大変お忙しい中、第6回の地域公共交通会議にお集まりいただきありがとうございます。
- ・昨年6月に本会議を立ち上げ、新たな公共交通を導入するべく、茨城大学の協力を得て実施したアンケート調査や茨城交通から提案のあった路線バスのルート・ダイヤなど、委員の皆様からご意見を頂戴しながらここまで進めてくることができました。いよいよ4月からの運行開始に向け、今後は広報PR活動などを重点的に実施し、村民から愛される新たな公共交通となるよう取り組んでまいりたいと考えております。
- ・また、前回の会議から、改正地域公共交通活性化再生法に基づく法定協議会も兼ねる会議体に移行し、本日の協議事項でもあります地域公共交通網形成計画の策定をはじめ、本村の地域公共交通に関する取組みを改正法に基づくものとするにより、今後は国の支援も視野に入れながら取組みを加速させてまいりたいと考えております。
- ・本日は、形成計画の素案や路線バスの広報PR、デマンドタクシーの運行に関する協議を予定しております。引続き委員の皆様から忌憚のないご意見を賜り、よりよい取組みとして進めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。簡単ではございますが、開催にあたり私からのあいさつとさせていただきます。

3. 協議事項

(まちづくり推進課)

- ・ありがとうございました。ここで、本日の出席委員数を報告させていただきます。本日は過半数を超える16名の委員の出席をいただいておりますので、本会議は成立しております。
- ・また、本日も、オブザーバーとして、隣接自治体の日立市、ひたちなか市、那珂市の担当部署の方々にご出席をいただいております。よろしくお願いいたします。
- ・なお、前回の会議において、要綱第9条の規定に基づき、会議の進行については、副会長に委任することが承認されましたので、以降の進行につきましては、河野副会長にお願いいたします。

(1)東海村地域公共交通網形成計画(素案)について

(河野副会長)

- ・それでは、東海村地域公共交通網形成計画の素案について、事務局から資料の説明をお願いいたします。

(まちづくり推進課)

- ・下記資料に基づき概要説明

(当日配布資料)東海村地域公共交通網形成計画(素案)正誤表

(資料1)東海村地域公共交通網形成計画(素案)

(当日配布資料)東海村地域公共交通網形成計画(素案)への意見について

(河野副会長)

- ・ありがとうございました。それではただいまの説明に対して質疑はございますか。

(委員)

- ・茨城運輸支局の野上と申します。本日は交通会議が6本重なっており、飯田の代理でまいりました。申し訳ございませんがよろしくお願いいたします。
- ・形成計画の素案について、私ども関東運輸局で12日の夕方いただきました、中身を事前に見させていただいております。ただし時間が短い、本来であれば、2週間ほどかけて見させていただきたいのですが、時間がないので本当に気が付いたところだけしか見ていないので、この後中身を読み込んでいけば、場合によってはまたお話しさせていただくことが出てきってしまうかもしれないということで、そういうお断りをさせていただいた上でお話しさせていただきます。
- ・ざっと見た中身については、運輸局から事務局の方にメールで言っておりますが、その中からかいつまんで委員に皆様にご説明させていただきます。
- ・53ページまでは現状の整理、データ、課題が列記されております。形成計画として公共交通をどのようにしていくのかという案は54ページ以降に記載されていると理解しております。
- ・形成計画については、総務省と国土交通省で告示されている地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針に沿った中身で作成していただくことになっております。
- ・早い話、基本方針に基づいて作成されていないというのが第一印象であります。
- ・形成計画は、地域が目指すべき将来像とともに公共交通が果たす役割を明確にして、まちづくりと一体となった方向性を基本的な方針として、目標を定め、達成するためにどのようなサービスをしていくかを定量的に、数値目標等を具体的に定めた上で、記載しなければならないが、そのあたりの記載内容が足りないのではないか。
- ・例えば、個別に指摘すると、最後のページに計画の達成状況の評価や進め方・推進体制とあるが、達成状況の評価する方策を設定するとなっているが、設定するのではなくどのような方法で評価をしていくのかという記載がなされなければならないのではないかと思います。
- ・当然PDCAサイクルに基づいて行うのだが、どのようなタイミングで計画をし、実行し、評価をするのかといったスケジュール感についての記載も必要になる。
- ・細部の記載内容については、事務局に伝えてあるのでこの場では発言しないが、これをもって中身に意見を出すとこの計画自体がガラッと変わってしまうのではないかという印象を受けている。

(河野副会長)

- ・そういった意見に対して事務局ではどのように考えているのか。

(まちづくり推進課)

- ・ご意見ありがとうございます。事務局として準備不足という面は否めませんが、東海村としても初めてこの計画を策定している中で、今後パブリックコメントも予定しており、その期間中もご意見をいただいた上でより良い計画にしていきたいと思っています。次回の会議で合意してもらえることが重要と考えております。

(河野副会長)

・よろしいですか。

(委員)

・子どもとしてはいいのだが、例えば、方向性が変わってしまうということはないのでしょうか。

(まちづくり推進課)

・方向性が変わるというのはどういった意味であるのか。評価の方法やスケジュール感については記載が足りないというご指摘だと思いますので、加わることはあり得ると思います。

(委員)

・加わること、場合によっては削られことがあり、例えば、計画の中に企業の送迎バスから路線バスに転換を図るという記載があるが、目標・課題であるが、そういったことが前提となって計画を立ててもらいたい。

(委員)

・そういったことも数値目標として設定して、そのためにどうするかを盛り込むということなのだろう。そういった意味では方向性としてはずれていないので、もっと詰めるという理解でいいのかなと思う。大きくガラッと変わってゼロベースで組み上げなおすということではないのではないかという印象を受けた。

(まちづくり推進課)

・当然、関係機関からもいろいろとご指導をいただいて、より良い計画にしようと考えているので、指導を無視して進めていくということではないということだけをご承知置きいただきたい。

(委員)

・指導ではなく、アドバイスだと思っていただきたい。

(副会長)

・その他皆さんの方からありますか。

・ないようなので、先ほど事務局から説明があったように素案に関する意見については、様式に必要事項を記入し、3月6日までに事務局まで提出してください。よろしくお願いします。

(2)新たな路線バスの広報PRについて

(副会長)

・それでは、続きまして新たな路線バスの広報PRについて事務局から説明をお願いします。

(まちづくり推進課)

・下記資料に基づき概要説明

(資料2)路線バス運行に関するスケジュール(案)

ラッピングバスデザイン(案)、バス車内装飾デザイン(案)

(当日配布資料)路線バス運行に関する案内チラシ

(副会長)

・ありがとうございました。広報PRや乗車促進策については、茨城交通さんでもいろいろと考えているようなので説明をお願いします。

(茨城交通)

・我々と東海村が共同で実施するものと、協力をいただきながら実施するもの、我々独自で考えているものがあります。まず今回配布されているチラシを使って、東海駅での配布や団地・アパートなどへのポス

ティングをやっていききたい。

- ・独自にもチラシを作成して、定期的に配布やポスティングをやっていききたいと考えている。
- ・教育委員会の協力を得ながら、特に小学校での実施が効果的であると思うが、バスの乗り方教室も実施できればと考えている。
- ・高齢の方についても、長年バスに乗っていない方も多くいるので、高齢者向けの乗り方教室もやりたいと考えている。
- ・中学校を卒業するタイミングでPRすることが効果的であることから、今回も案内の配布を実施する。
- ・独自での実施としては、水戸市内あるいはひたちなか市内との行き来が先ほどのデータからもある。我々は、水戸・ひたちなかの営業所が5ヶ所、路線バスが200台あまりある。その中にチラシを掲示し、東海駅を降りたらこういった交通手段があるということをPRしていききたい。
- ・当然ホームページでもPRする。月間で10,000人ほどの閲覧がある。
- ・状況を見ながら必要な手は打っていききたい。

(副会長)

- ・ありがとうございました。ただいまの事務局と茨城交通さんの説明に対して意見や質問をお願いします。

(委員)

- ・ラッピングバスの件であるが、これは協議会としてやるのか。著作権などでもめるケースがあるが、今回は問題がないということで大丈夫か。

(茨城交通)

- ・内容的には問題がないとのことで東海村と進めている。

(委員)

- ・ラッピングバスの写真はこれで決定なのか。

(委員)

- ・4月から運行するには、様々な手続があり、現時点で決定していないと間に合わない。

(副会長)

- ・その他ありますか。
- ・ないようなので、広報PRについて、少しでも早く村民の皆さんに情報を届けることが利用促進につながると思うので、よろしくお願いいたしますと思います。

(3)デマンドタクシーの運行について

(副会長)

- ・それでは、続いて、デマンドタクシーの運行について、東海駅構内ハイヤー組合の代表であります舁井委員から説明をお願いします。

(委員)

- ・この度サンタクシーから東海村デマンドタクシーに協力したいとの申し出が組合にあり、現在協議をしているところであります。デマンドタクシーの委託契約は、東海駅構内ハイヤー組合であり、現在は常東タクシーと東海タクシーの2社で運行しています。平成16年に茨城県初のデマンドタクシー運行の話が東海村からあった頃、組合は常東、東海、サンタクシーで打ち合わせをし、歩調を合わせていたが、当時サンタクシーは茨城交通の傘下の会社であり、茨城交通がタクシー部門を廃業するという時期と重なり、当初は2社でスタートする形となった。その時サンタクシーはドライバー組合による新たな会社を発

足していたので、組合には加盟したままであった。

- ・この度サントクシーよりデマンドタクシーに参加したいとの申し入れがあり、組合で協議した結果、月曜日から土曜日まで6台中1台を運行してもらうことになった。申請の許可にあたり、地域公共交通会議での承認が必要であり、予備車1台も含めて本日承認をいただきたい。スタート時期については、許可書が認可された時とし、申請期間中に組合としてドライバーの選任と実習を行いたい。よろしくお願いします。

(副会長)

- ・ありがとうございました。ただいまの説明に対して皆様の方からご意見、ご質問がありましたらよろしくお願いします。

(委員)

- ・サントクシーが参加するのは許可後ということでもいいのか。

(委員)

- ・許可後と考えているが、理想的には4月からである。

(委員)

- ・公共交通会議案件となると審査期間が短縮となる場合もあるが、今回は許可後ということでもいいのか。

(茨城交通)

- ・認可された後と考えている。おそらく認可された翌月の1日からスタートになる。
- ・まだ申請を出していない。相談にいったところ、公共交通会議で説明してからとのことであったことから本日の協議事項としてもらった。

(副会長)

- ・デマンドタクシーの運行については、今後、常東タクシー、東海タクシーに加えサントクシーが入るということで、了承いただければその後申請するということであるが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

- ・本件については了承いたします。

(4)その他

(副会長)

- ・それでは、その他に移ります。皆様方から何かあればお願いします。

(委員)

- ・バス停の設定について、以前フリー乗降について聞いたことがあるがそういった検討はあったのか。

(委員)

- ・フリー乗降となると、様々な要件、例えば他の交通に影響を与えず安全であるかといった条件があり、簡単に許可ができるものではないので今回は入れていない。

(委員)

- ・どこでもという訳にはいかないのだろうが、新しい考え方の取組みとして検討してもらいたい。

(委員)

- ・諸要件をクリアでき、必要性があるのであれば検討していきたいが、開始当初についてはこれで進めていきたい。

（委員）

- ・茨城交通が以前路線を走らせていたという経緯で今回こういった話になったのだと思うが、今回茨城交通に決まったという経緯について説明をしてもらいたい。

（まちづくり推進課）

- ・この会議の中で、茨城交通から路線バスとして走らせてみたいとい提案があり、進めてきた。

（委員）

- ・路線バスを走らせるにもいろいろな免許が必要となり、そういった面も考慮されているのだろう。

（副会長）

- ・他になければ、時間も経過しているので、本日の協議事項を終了します。ありがとうございました。

6. 閉会（まちづくり推進課）

- ・繰り返しになるが、素案についてお気付きの点があれば、3月6日までに事務局までご連絡ください。次回は3月下旬に開催し、形成計画の最終案についてご審議いただきたいと考えている。日程については別途通知します。以上で会議を終了いたします。ありがとうございました。